

日中友好新聞

府連通信

2015年7月号
 日本中国友好協会大阪府連合会
 〒530-0012
 大阪市北区
 芝田2-3-19
 東洋ビル本館207
 TEL06-6372-8131
 050-3413-6491
 FAX06-6372-8132
 郵便振替口座
 00970-5-8978
 E-mail:jcfa@j
 t8.so-net.ne.jp
 ホームページ
[http://www005.u
pp.so-net.ne.jp
/jcfaosaka/](http://www005.u
pp.so-net.ne.jp
/jcfaosaka/)

府連大会 平和友好のつどいの

成功を支部組織の強化へ

第六十一回大阪府連大会は七月五日、大阪市内で四〇名が参加して開かれました。渡辺武会長の開会あいさつ、日本共産党辰巳孝太郎参議院議員と日中友好協会兵庫支部の代表と日中友好協会兵庫支部連合会の前田清会長から来賓御挨拶を受けました。

二五団体から寄せられたメッセージから「中華人民共和国駐大阪総領事劉毅仁」様と「明るい民主大

120名の会員純増で迎える 64大会 戦争法案阻止へ全力

日中友好協会第六十四回大会が、六月十三日から東京都内で224名の代議員や評議員の参加で行なわれました。大阪から六名の代議員と本部役員二名が参加しました。渡辺武
 本部副会長は、大阪の常任理事として活躍中一月に急逝された廣原さん(東大阪)をふくめ物故者五一名を紹介、参加者は黙



れ、四月の日中首脳会談の実現、訪日する中国人旅行者の増大などの変化の中で改善の兆しをみせはじめています」と提案。
 大会発言では「日中不再戦・平和友好のつどい」、きりえ、「望郷の鐘」等映画上映活動、北東アジア平和の旅、支部活動の着実な実践、支部づくりの取り組みやきりえ講座について語られ、多彩な活動が報告されました。

に「『戦争法案』と憲法改悪を許さない決議」を採択しました。
 財政小委員会では緊迫している本部財政問題と50年・30年・20年会員が紹介されました。
 機関紙コンクールで西支部ニュースと大阪府連通信が佳作の表彰を

十一名が発言

發言内容の要約です。詳細は次号で紹介します。「入会以来一度も活動には参加しなかったが、平和のつどいに参加して、曉子さんの立派な挨拶に心を動かされ非常に良かった。反戦ラジオ放送があったことを大きく打ち出しましょう。日中友好新聞は充実した内容で、日中関係がよく分かる。これから支部作りに参加したい」

「曉子さんはシャイな方なのに、つどいで訴えてくれてよかった。長谷川テルも毛沢東も知らない、若い大学生の朗読や、日本と中国の青年による司会も良かった」
 「つどいのネーミングがよかった、若くは進言宣言も良かった。六月号府連通信掲載の堺のつどいは息子が中国の良いところを紹介した。これから若者の出番を増やしたい」

祝辞 二五団体から

中華人民共和国 駐大阪総領事 劉毅仁、明るい民主大阪府政をつくる会、大阪府歯科保険医協会、国民救済会大阪府本部、日本・コリア協会大阪、原水爆禁止大阪府協議会、大阪アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会、非核の政府を求める大阪の会、大阪市をよくする会、関西勤労者教育協会、日本科学者会議大阪支部、大阪から公害をなくす会、全大阪労働組合総連合、大阪自治体労働組合、大阪医療労働組合連合、全日本金者組合、大阪府立高等学校教職員組合、京橋共同法律事務所、

新役員を選出(敬称略)

- 会長 渡辺武 副会長 山本恒人、小林徳子 理事長 松尾豊
- 副理事長 片山英徳
- 事務局長 澤野井公夫
- 事務局次長 近藤好幸
- 常任理事 荒崎博 石井勉
- 恒岡正勝 松原弥寿夫 平松悦雄
- 理事 前田尋 早乙女実
- 高橋朗 中村健二 土井一正
- 栗山俊子 熊原元直(新)
- 尾中妙子 辻弘樹
- 坂手日登美(新)
- 会計監査 伊藤滋高、西本博文

青年が朗読劇を熱演 日中不再戦・平和友好のつどいに450名

「日中不再戦・平和友好のつどい」名が熱心にメイン企画のは七月一日大阪市内で開催されま朗読劇「戦時下反戦放した。ドーンセンターのロビーに送・長谷川テルの生涯とは開場一時間前からぞくぞく詰め遺児 暁子」に聴き入りかけた方々が数十名になり、開会しました。この朗読劇は演時間にはほぼ八割の席が埋まる盛況で、スタッフをふくめて450名、南京大虐殺以後三年間で218回の反戦ラジオ放送を行った「長谷川テル」の思いを伝えようと稽古を積み重ね感動の舞台となりました。



長谷川テルさんの遺児 暁子さんが「日中不再戦・



平和の決意新たに」と戦後七〇年の暁子さんの協力で、今こそ母の声である日中不再戦とお母さんの「長谷川テと訴えました。日中国交回復を記念して製作された映画「望郷の星」

でテルさん役の栗原小巻さんが駆けつけ、花束を暁子さんに送り、激励のあいさつをされ満場の拍手をうけました。

今年の「不再戦のつどい」は戦後七十年の記念すべき年にふさわしい規模で行おうと、遺児



渡辺会長のあいさつ、今年「不再戦のつどい」は強い合唱、フォークシンガー野田淳子さんのうた、エスプレント語で憲法9条を朗読、集會宣言「安倍首相に過去の克服を進言する」を満場の拍手で採択し首相官邸へ送りました。

した。暁子さんの訴え、一所懸命話される中にその思い願いが伝わりました。栗原小巻さんの花束贈呈にびっくりしました。サブライズ！」「暁子さんのお話は、大変切実で、中国の立場（民衆）を踏まえた大変良い話でした。もっともっと日中友好のこと、憲法九条を守ることを広げないといけませんね」「朗読劇に感動し、暁子さんの話に心揺さぶられ、情勢にふさわしい拍手と共感を送ります」会場で訴えたカンパには、170名以上から136978円が寄せられました。ありがとうございました。

長谷川暁子さん平和の思いを訴え

過去の教訓と平和の理念を共有しよう

長谷川暁子さんはあいさつの中で

「私は中国で生まれ、中国人としてそこに四十年も暮らしてきました。自分を大事に育ててくれた中国を祖国として愛しております。

四十路にさしかかったとき、体の中に日本人の血が流れているせい、小さい頃から憧れてきた、未知の日本に留学

好きになりました。留学を終

え一旦帰国しましたが、その後二年間、祖国である中国を後にしていいのか、初老になつた自分は今までの安定した生活を捨てて、言葉もわからず、生計を立てるすべも知らず、想像できる貧乏生活に

耐えられるのかと悩んだあげうと決意しました

と語り始め、平和への思いを切々と訴えられ、最後にこ

う結んでお話が終わりました。

「皆さん、国と国のあいだに

みと偏見ではなく、憎悪と敵

美しい国になるに違いないと

そして願っております」

この取り組みの中で長谷川テルさんの墓参ツアーが企画されています。九月十一日から中国黒竜江省ジャムスへ暁子さんと共に行く旅を募集しています。

八十名の感想から少し紹介します「若い人たちが積極的に取り組んでおられる姿を見て希望が湧きました」「初めて知ることばかりで大変感動した。暁子さんのお話

が心がかもつていてひびきました。野田さんの歌は涙ができました。

栗原さんは美しい」「きわめて今日の情勢に合った企画内容でした。集會宣言に全面的に賛同します」「若い人の情熱的な朗読に感動を受けました。企画演出に感心しま

第2回中国百科検定

検定実施：9月27日(日) 15:00~15:50

申込期間：6月1日(月)~8月7日(金)

受験コース：3級(ものしりコース)

2級(中国通コース) 併願不可

受験料：3級3500円、2級4500円(税込)

大阪は南北二会場で試験を実施します。